

令和3年度 学校保健委員会



1. 学校保健委員会の組織について

2. 歯科健診結果について

- ・乳歯のおし歯と要注意乳歯
- ・PTA 保健厚生委員会アンケート調査結果について

3. 令和3年度体力テスト結果について

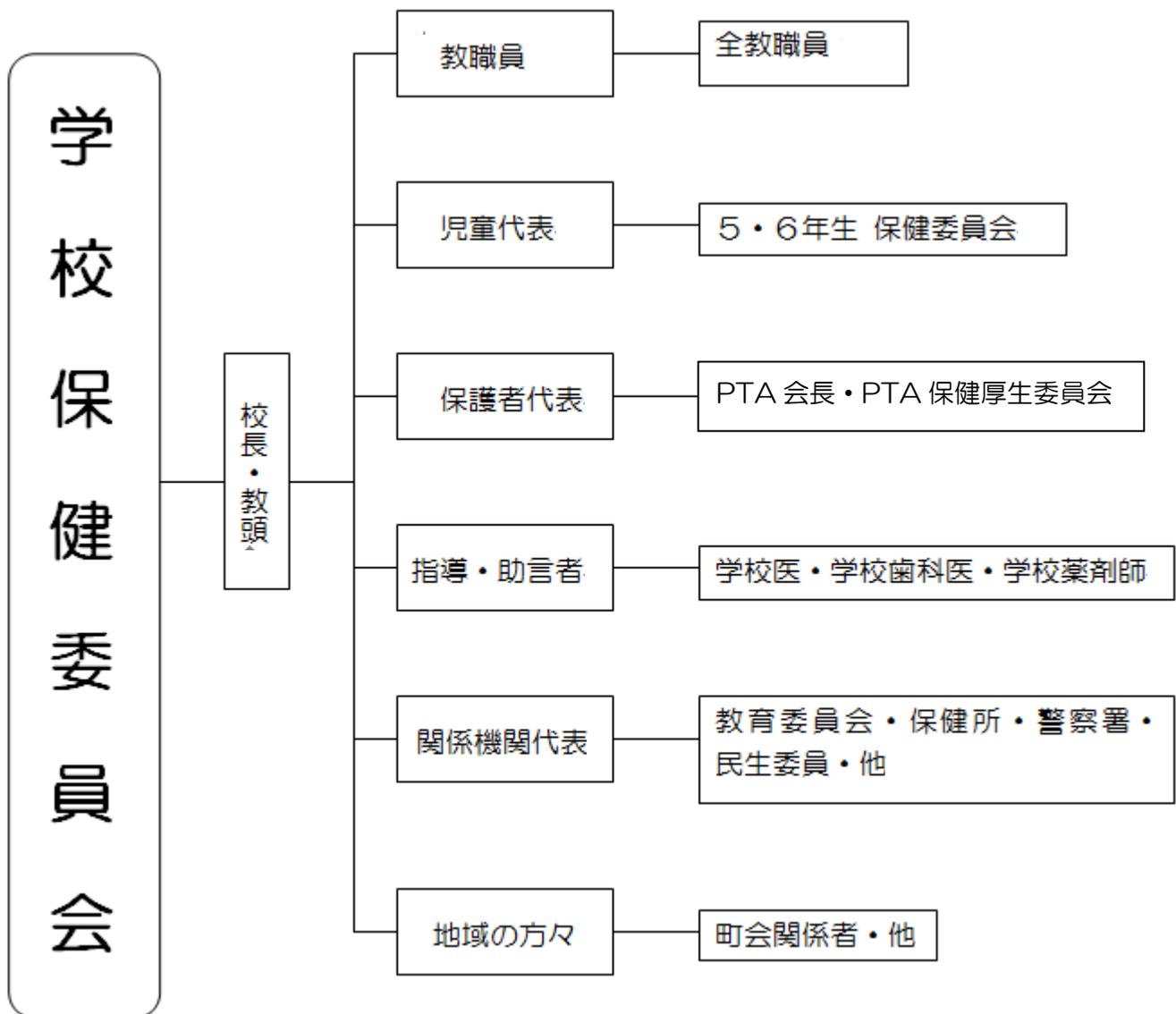


学校保健委員会の組織について

【 学校保健委員会とは 】

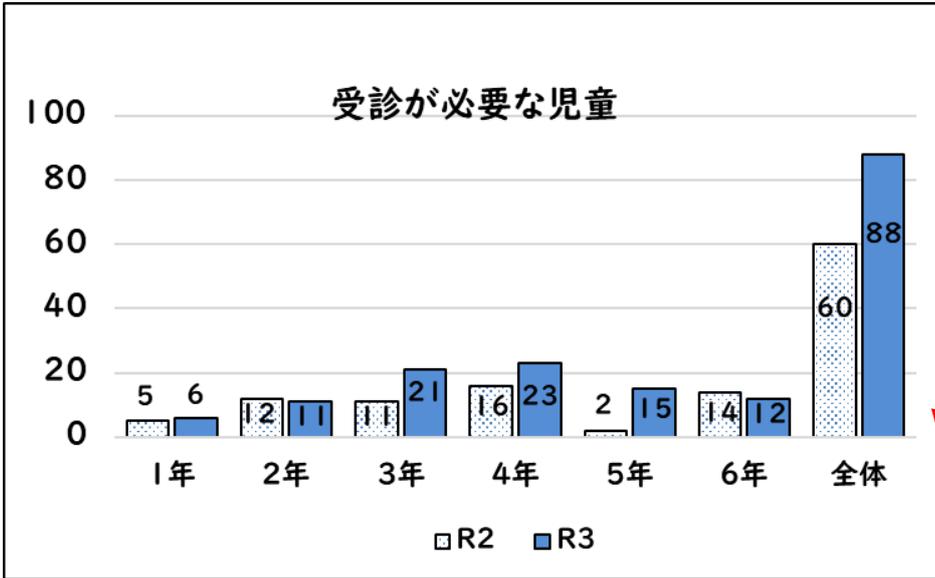
学校における健康の問題を研究協議し、健康づくりを推進する組織です。

様々な健康問題に適切に対処するため、家庭、地域社会等の教育力を充実する観点から、学校と家庭、地域社会を結ぶ組織として学校保健委員会を機能させることが求められています。



令和3年度 歯科健診結果

《 6月の健診結果 》



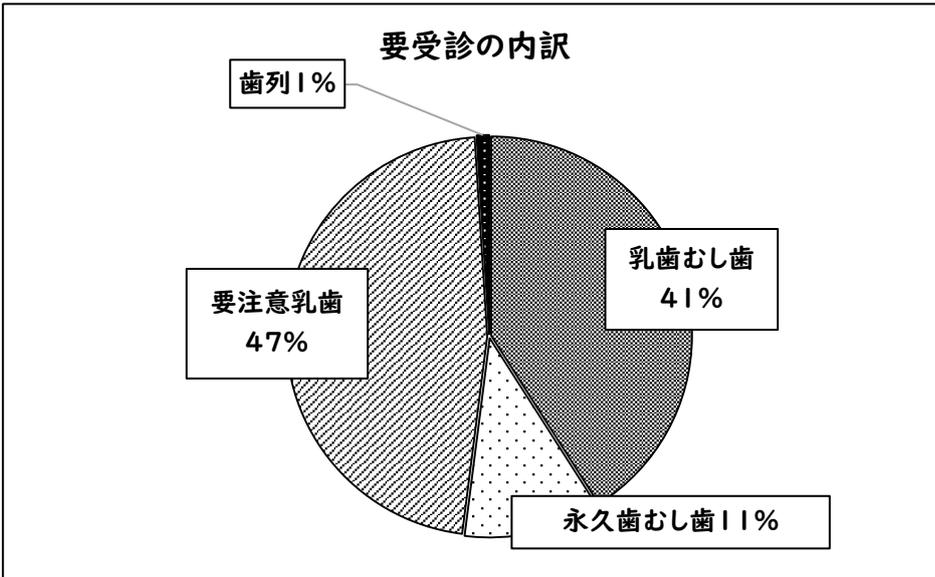
検査人数614名

受診が必要な人は、全体の14.3%でした。

前年度より28人増でしたが、素晴らしい結果です。

※受診が必要な児童とは、むし歯、要注意乳歯がある児童、また顎関節、歯列、歯垢、歯肉の状態が「2」の児童です。

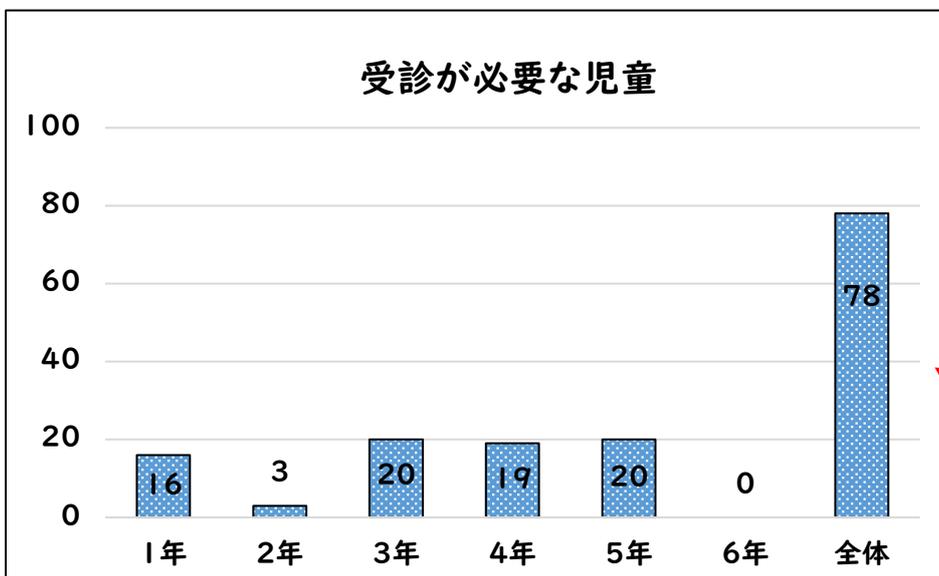
※「2」の状態とは、より専門的な診査が必要な場合です。



差間小のむし歯(乳歯・永久歯)の保有者の割合は、**8.6%**でした。

令和2年度埼玉県学校保健統計調査では、むし歯の保有者の割合は、小学校は**36.2%**となっており、このことから差間小の児童のむし歯の割合が低いことがわかります。

《 11月の健診結果 》



検査人数604名

受診が必要な人は、全体の12.9%でした。

11月の健診も素晴らしい結果でした。

《6月の健診 受診状況》

【乳歯・永久歯のむし歯・要注意乳歯】

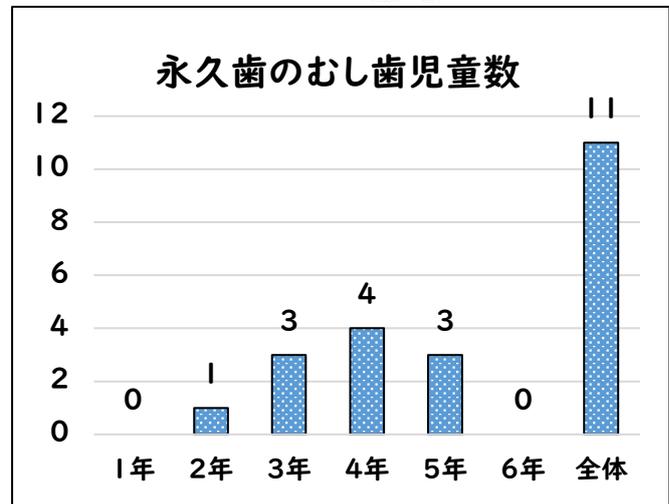
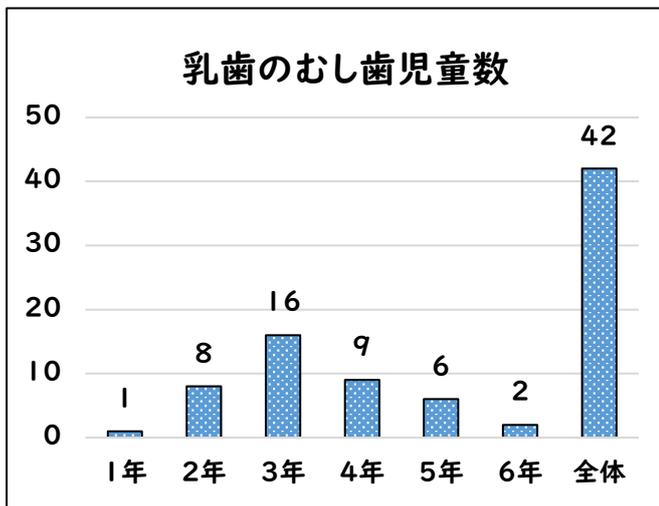
	歯科受診が必要な人	受診した人	未受診者	受診率%
なかよし	7	7	0	100.0
1年	5	5	0	100.0
2年	9	9	0	100.0
3年	21	21	0	100.0
4年	21	21	0	100.0
5年	14	14	0	100.0
6年	11	11	0	100.0
全体	88	88	0	100.0

ご協力ありがとうございます。
6月の健診の受診状況ですが、12月末で100%となりました。

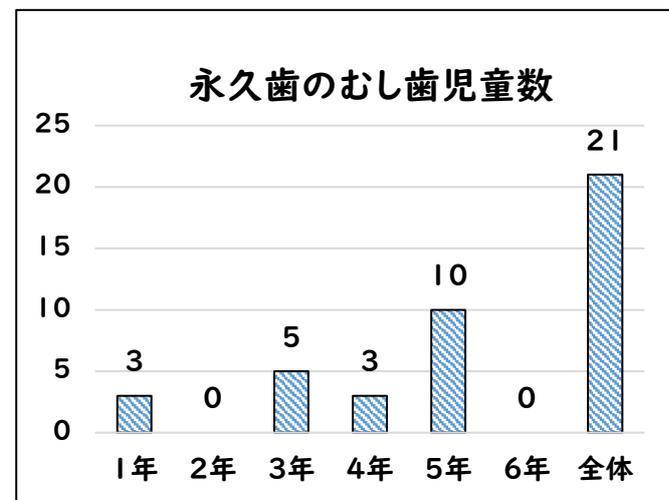
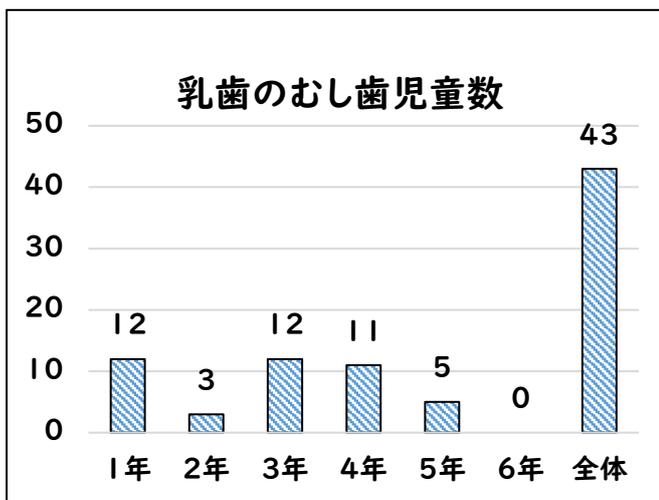
11月の健診で受診が必要でまだ未受診のご家庭は早急に受診いただくよう、お願いいたします。



《6月の健診結果》



《11月の健診結果》



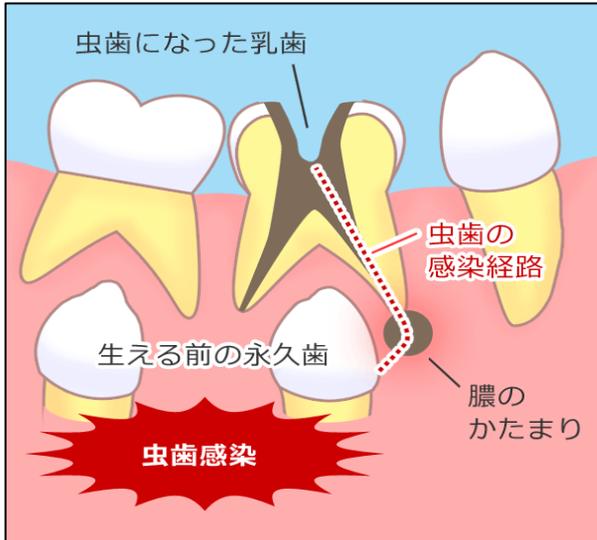
6月の健診ではむし歯がなかったのに、11月の健診ではむし歯になっている児童がみられました。特に永久歯のむし歯を保有している児童が多くなったのが、気になるところです。低学年では、お子さんだけの歯みがきでは、みがき残しが多くなってしまいます。歯の健康を保つには、保護者の方の仕上げみがきが大切です。2年生、6年生の歯の状態が素晴らしいと歯科医の先生から、お褒めの言葉をいただきました。

【 乳歯のむし歯・要注意乳歯について 】

乳歯のむし歯は永久歯に影響を与えます

永久歯は乳歯の下で成長しています。いずれ永久歯に生え変わるからといって、乳歯のむし歯を放置すると永久歯に様々な影響があります。

※状態によっては経過観察の場合もあります。まずは、受診をすることが大切です。



☆乳歯のむし歯☆

○乳歯がむし歯になり、乳歯の根っこに膿をもっていたりすると、永久歯が生えてきた時にむし歯になっていたり、色が変わったりします。

○乳歯のむし歯を放置していると、乳歯の形が崩れて、永久歯の生える場所がずれてしまい、歯並びが悪くなってしまいます。



☆要注意乳歯☆

特に気をつけていただきたいのは、要注意乳歯です。要注意乳歯とは、乳歯の後ろから永久歯が生えてきている状態のことで、今後生えてくる永久歯の歯並びに大きく影響します。また、歯みがきがしづらく、むし歯になってしまう場合があります。要注意乳歯がある場合には、早めに受診し、歯科医の指導を受けることをおすすめします。

※参考資料 ライオン歯科衛生研究所 埼玉県秩父市落合歯科医院

～保健室から～

本校保健室では「歯科保健の充実」を目指し、歯科衛生士による親子歯みがき教室・全国小学生歯みがき大会への参加(4年生)・歯科医による歯科学習・児童保健委員会による「歯っぴーデー」の取組・歯科保健指導・保健だよりなどを通して、日々、児童に歯の健康の大切さを伝えております。

ご家庭のご協力もあり、お蔭様で、令和2年度・3年度と2年連続で埼玉県学校歯科保健コンクールにて、優良学校に選ばれました。差間小の歯科健診の結果や歯科保健活動の取組、またご家庭での歯科に関する意識の高さが評価されたものです。本当にありがとうございました。

差間小の児童は、上記の健診結果からわかるように、むし歯の保有率が低く、また治療率も良いです。特に定期的に歯科医へ健診に行っているご家庭が多いと思われま。先日、PTA 保健厚生委員会の保護者の皆様にご協力いただき、「歯に関することで、ご家庭で気を付けていること」についてアンケート調査を行いました。その結果、「定期的に受診をする」「仕上げみがきをする」「歯みがき後のチェックをする」「歯に違和感を感じたらすぐに受診をする」など、ご家庭でお子さんの歯の健康にとっても気を付けていただいていることがわかりました。

「歯は全身の健康の原点」とも言われています。歯が健康だと、体も心も元気でいられます。毎日、「上手な歯みがき」を心掛けて、差間っ子の全校児童が健康な歯でいられるよう、今後ご協力をお願いいたします。

【 PTA 保健厚生委員会アンケート調査結果について 】

※PTA 保健厚生委員会の皆様にお答えいただきました。

《 家庭での健康課題について 》

- ・ゲームの時間が長く、休日は特に長時間になってしまう。
- ・ゲーム、特に YouTube を見ている時間が長くなってしまうことが気になっている。
声掛けをして、休憩を入れながら見る時間の調整をしている。
- ・ゲームをし過ぎないように、時間を決めている。睡眠不足にならないように、寝る時間と起きる時間を決めている。
- ・ゲーム時間（時間を決めてやるなど、気をつけたい）
- ・休日前や休日は寝る時間が遅くなってしまう。スマホ（動画のみ使用できるもの）を見る時間が増えている。
注意し、時間を決めるようにしている。
- ・ゲームをしている時の姿勢が悪い。注意しているがなかなかおらない。
- ・食べる量と比べて、運動量が低下している印象。（外遊びより、家での遊びを好む傾向がある）
- ・コロナ感染予防対策。お家時間が増えたことによって、テレビやゲーム時間が長くなること。
なかなか気軽にお出かけすることが難しい中で、子どもの楽しい時間を作ってあげられていないので、心のストレスとかが心配。
- ・ゲーム時間が最近増えていると思う。気になる時は、すぐに伝えてやめるように言っている。子どもとはリビングなど、同じ部屋にいたので、いつでも見守っている状態を作っている。
- ・日によって習い事で学校からの帰宅後の過ごし方に違いはありますが、就寝・起床時間は変わらないように心がけている。
- ・睡眠時間を確保することで、健康維持にもつながると感じている。
- ・学校での運動時間が少ないようなので、肥り過ぎないように、定期的な運動系の習い事をさせていこうと考え中。
- ・帰りが遅くなったりすると、寝る時間が9時半過ぎてしまったりする。
- ・ゲームは時間をしっかり決め、その時間内でやらせている。就寝時間も決め、早めに寝かせ、睡眠不足にならないように気をつけている。
- ・ゲームの時間は21時半まで。宿題や学校の準備を先に終わらせてから、自分の時間を作る。睡眠時間と食事時間（内容も含め）時間を大切にする。
- ・ゲームの時間は、約束を決めないといつまでもやる。土日もある程度約束を決めないとやりたい気持ちが抑えきれず、不機嫌になる。
- ・ゲーム時間をもう少し減らしたい。
- ・ゲームの時間は、1日2時間以内になっている。10時までには寝るようにさせている。
- ・共働きだとなかなか就寝時間を早くできない。日中あまり水分を摂っていないように感じる。

【 歯科に関することで、家庭で気をつけていること 】

- ・定期的に健診にいっている。（多数）
- ・仕上げみがき、歯みがき後のチェックをしている。（多数）
- ・鏡を見て、時間を掛けて歯みがきしている。
- ・フッ素入りの歯みがき粉を使用し、しっかりみがくように、子どもに伝えている。
- ・フロスや歯間ブラシを使用している。
- ・むし歯になるとどうなるか、などの話しをしている。
- ・定期健診（3～4か月に1度）に行き、フッ素塗布している。
- ・歯みがき後、口の中をチェックして、みがけていない時は、鏡を見て確認させる。
- ・夜、歯をみがいた後はお茶のみ OK にしている。

令和3年度 新体力テスト結果(令和3度の県平均との比較)

1年男子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	9.39	13.48	28.59	32.99	24.40	11.01	127.78	9.03
県平均	9.06	12.31	27.18	28.06	22.13	11.50	116.92	7.87
	103.6%	109.5%	105.2%	117.6%	110.3%	104.5%	109.3%	114.7%

1年女子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	8.12	11.38	31.81	29.58	18.80	11.51	115.37	5.23
県平均	8.67	12.14	29.64	26.98	18.99	11.80	109.85	5.69
	93.66%	93.74%	107.32%	109.64%	99.00%	102.52%	105.03%	91.92%

2年男子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	10.69	13.52	33.72	32.36	33.81	10.65	127.81	10.45
県平均	10.65	14.94	28.84	31.52	30.09	10.68	127.54	10.61
	100.4%	90.5%	116.9%	102.7%	112.4%	100.3%	100.2%	98.5%

2年女子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	10.88	14.45	38.61	31.91	27.70	10.83	126.46	7.09
県平均	10.17	14.61	31.81	30.28	24.90	10.99	120.35	7.39
	106.98%	98.90%	121.38%	105.38%	111.24%	101.48%	105.08%	95.94%

3年男子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	13.07	18.14	28.80	32.37	33.75	10.12	138.33	13.16
県平均	12.40	17.30	30.91	35.12	37.74	10.14	137.66	13.49
	105.4%	104.9%	93.2%	92.2%	89.4%	100.2%	100.5%	97.6%

3年女子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	12.33	17.47	37.29	33.64	26.10	10.58	129.41	9.33
県平均	11.90	16.84	34.52	33.47	30.53	10.41	131.12	9.27
	103.61%	103.74%	108.02%	100.51%	85.49%	98.39%	98.70%	100.65%

4年男子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	15.61	20.00	33.24	39.64	48.63	9.44	148.25	15.15
県平均	14.23	19.16	32.65	39.15	45.29	9.71	146.26	16.60
	109.7%	104.4%	101.8%	101.3%	107.4%	102.9%	101.4%	91.3%

4年女子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	14.54	18.29	36.50	37.83	35.35	9.89	141.58	11.00
県平均	13.84	18.69	36.86	37.26	36.89	9.94	140.66	11.26
	105.06%	97.86%	99.02%	101.53%	95.83%	100.51%	100.65%	97.69%

5年男子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	16.27	20.47	38.57	42.83	59.28	9.27	157.16	16.86
県平均	16.28	20.89	35.00	42.80	52.17	9.34	155.29	19.78
	99.9%	98.0%	110.2%	100.1%	113.6%	100.8%	101.2%	85.2%

5年女子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	16.58	20.18	45.40	41.94	54.64	9.36	147.10	13.56
県平均	16.29	20.19	39.89	41.09	43.99	9.53	150.05	13.40
	101.78%	99.95%	113.81%	102.07%	124.78%	101.82%	98.03%	101.19%

6年男子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	20.39	24.46	41.69	46.27	67.54	8.76	164.88	26.84
県平均	19.17	22.69	37.34	46.13	59.76	8.91	166.32	23.01
	106.4%	107.8%	111.6%	100.3%	113.0%	101.7%	99.1%	116.6%

6年女子	kg	回	cm	回	回	秒	cm	m
種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50M走	立ち幅跳び	ボール投げ
平均	18.75	21.35	42.37	44.46	57.74	9.08	160.94	16.50
県平均	19.12	21.35	42.62	43.86	48.86	9.15	158.23	15.26
	98.06%	100.00%	99.41%	101.37%	118.17%	100.77%	101.71%	108.13%

結果・考察

学年	項目数	向上	課題	備考(県平均と比較して ◎特に向上している項目 ★今後高めたい項目)	
1年	男子	8	8	0	◎ボール投げ 上体起こし ★握力 長座体前屈
	女子	8	4	4	◎反復横跳び 長座体前屈 ★ボール投げ 握力 上体起こし
2年	男子	8	6	2	◎長座体前屈 20mシャトルラン ★上体起こし ボール投げ
	女子	8	6	2	◎長座体前屈 20mシャトルラン ★ボール投げ 上体起こし
3年	男子	8	4	4	◎握力 ★20mシャトル 反復横跳び 長座体前屈 ボール投げ
	女子	8	5	3	◎長座体前屈 ★20mシャトルラン 50m走 立ち幅跳び
4年	男子	8	7	1	◎握力 20mシャトルラン ★ボール投げ
	女子	8	4	4	◎握力 ★20mシャトルラン 上体起こし 長座体前屈
5年	男子	8	5	3	◎長座体前屈 20mシャトルラン ★ボール投げ 上体起こし 握力
	女子	8	6	2	◎20mシャトルラン 長座体前屈 ★上体起こし 立ち幅跳び
6年	男子	8	7	1	◎ボール投げ 20mシャトルラン 長座体前屈 ★立ち幅跳び
	女子	8	6	2	◎20mシャトルラン ★握力 上体起こし 長座体前屈

備考欄には、特に向上、低下傾向のあるもののみ示しています。

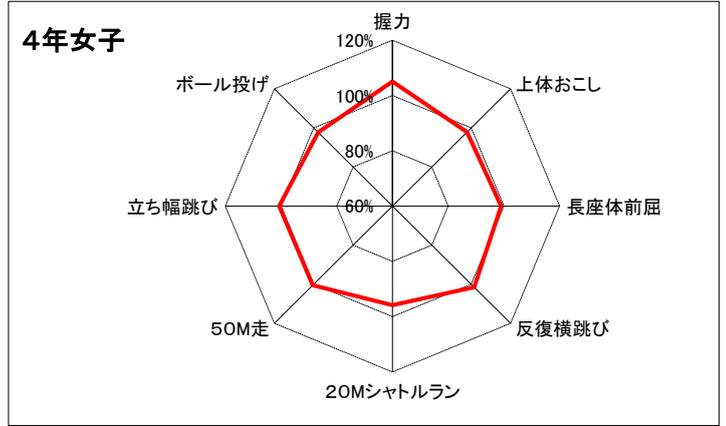
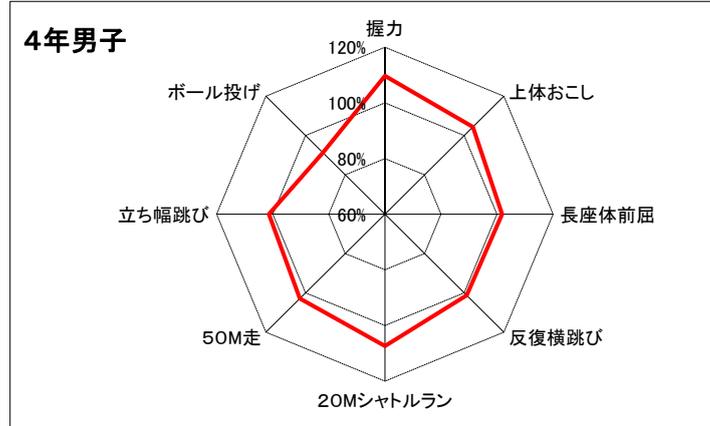
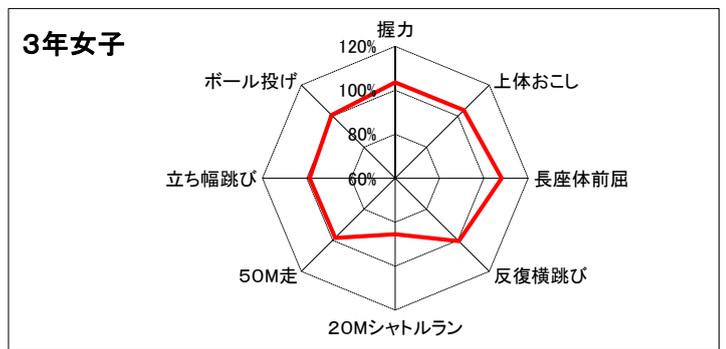
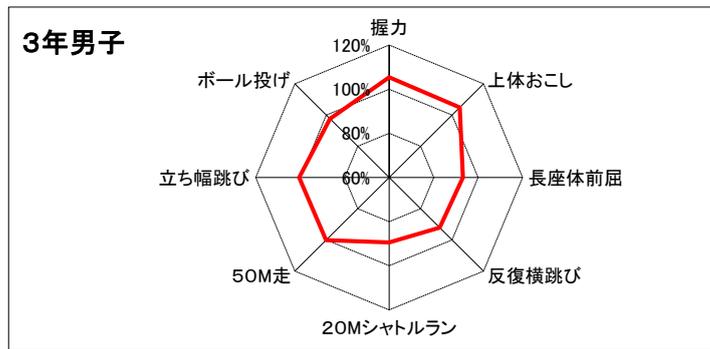
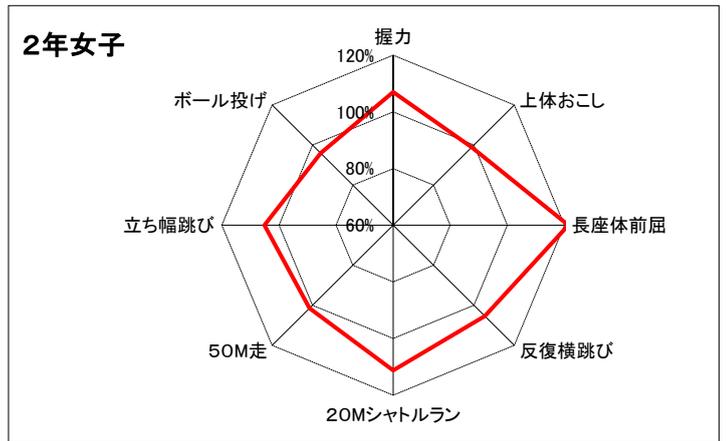
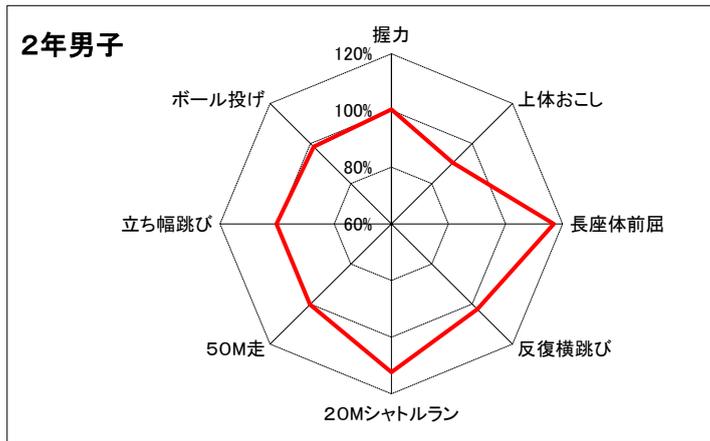
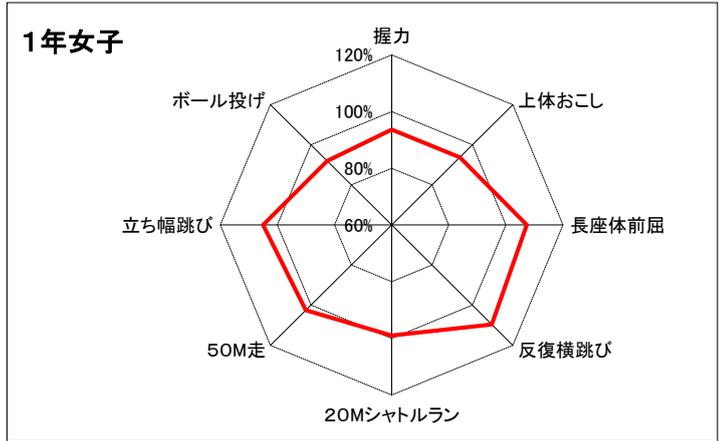
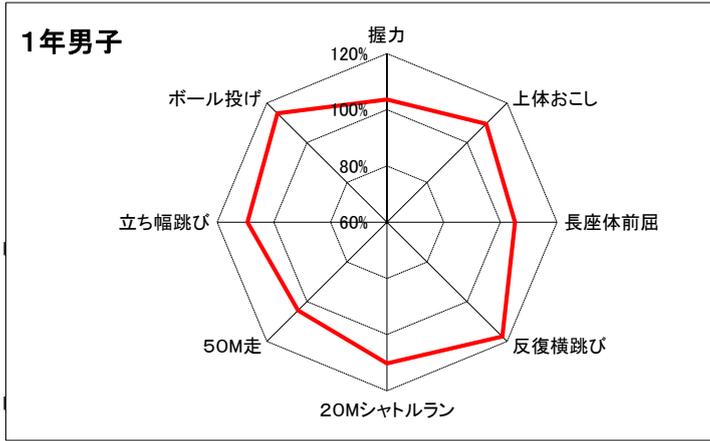
種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
体力項目	筋力	筋力	柔軟性	敏捷性	全身持久力	走力	瞬発力	巧緻性
		筋持久力						瞬発力

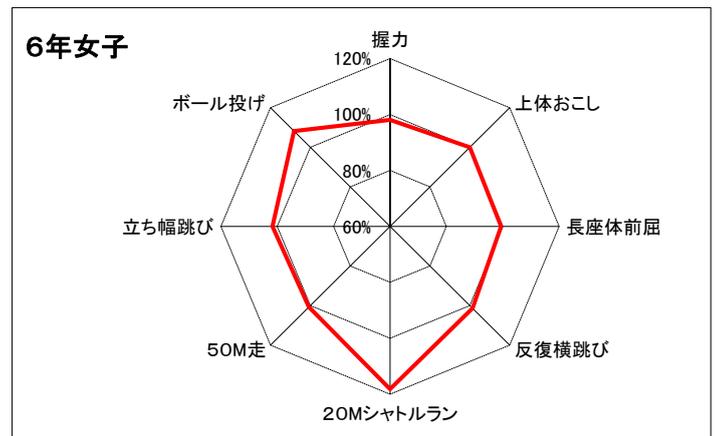
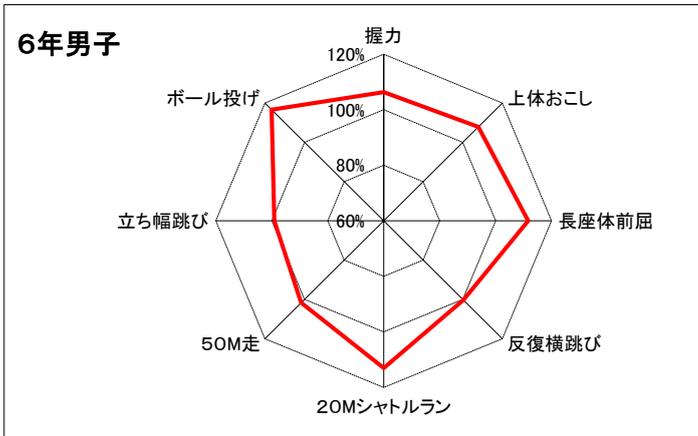
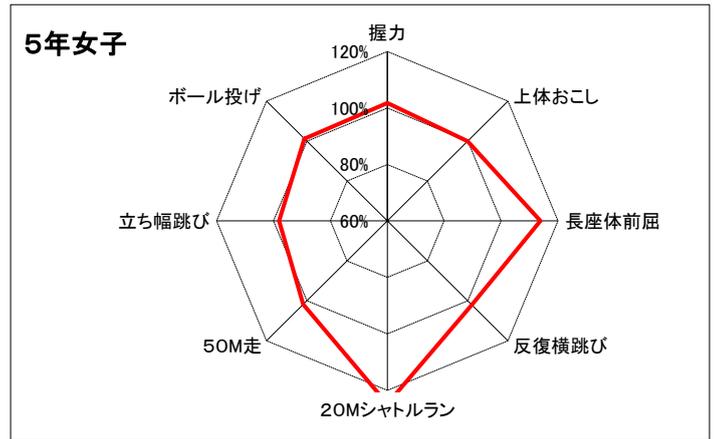
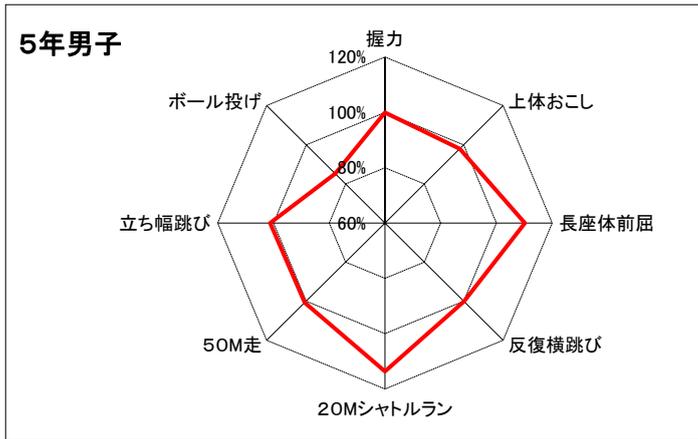
2. 結果の考察

- 1年ぶりに実施した新体力テストでは、全体的な数値が下がったものの、差間小全体で小さい減少で留まった。運動機会は減ったものの運動量は変わらず体育授業や休み時間の活動があったからと考える。
- 差間小の課題は、ボール投げと上体起こしであることが結果から分かった。上体起こしは、県平均より1ポイント未満下回っているものが多い。しかし、ボール投げにおいては、県平均を1ポイント以上大きく下回っているものが見受けられた。ここから、投力の低下が見受けられる。加えて、ボールを投げる機会が減り、投げ方を知らないもしくは投げ方が良くないことも新体力テストの様子から見受けられた。
- 上体起こしが差間小全体で県平均を下回っているが、女子では20mシャトルランも県平均を下回っている学年が多い。この2つは運動の特性として【ねばり強さ】が関係している。運動を粘り強く行う児童が少ないことが分かった。

1. 全体的な傾向としての実態把握

- 埼玉県の平均に比べて、差間小の児童の体力は高い。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う運動不足・運動機会減少が講じて、本校の体力は例年に比べ落ちている。
- 男女別にみても、男子に比べ女子の記録が県平均を下回っているものが多い。
- 学年別にみても、中学年において県平均を下回るものが多い。
- 項目別にみても、【反復横跳び】【50m走】の2つが県平均を越えて児童が多い。対して、【ボール投げ】【上体起こし】の2つが県平均を下回っている児童が多い。





3. 学校と家庭とで取り組むべき課題

この結果から本校児童の体力の実態を把握し、それぞれの立場で方策を考え、どう実践すべきかを連携して行かなければならない。特に投力と筋力、筋持久力は通常の体育授業だけでは向上は難しいので、その他にも日常から体を動かすことが重要である。

▼学校でできること…低学年から高学年まで、投力・筋力・筋持久力・持久力・瞬発力・敏捷性などの継続的な取り組みを実施する。

①差間っ子サーキットトレーニングの実施…持久力・筋力・筋持久力・走力・瞬発力・敏捷性を取り入れた運動で、授業の初めに実施をしていく。

②体育授業の充実【運動が楽しくなる・好きになる指導法→運動の生活化へ】

☆できる喜び☆伸びる喜び☆認められる喜び

③休み時間の外遊び等の奨励・体力向上に関わる遊びができるような工夫

▼家庭にお願いしたいこと…親子でふれあい、体を共に動かす。学カテストと同じように体力テスト勉強を定期的実施。

①本結果と新体力テスト個票を親子で共有する。子どもだけが頑張るのではなく、親子で頑張る。

子どもがいつまでも健やかに育つためには保護者の協力も十分に必要。文科省ホームページには、新体力テストについても掲載。それを見ながら、子どもと記録に挑戦してみる。定期的に行えば、子どもの伸びも見られますし、大人の運動不足解消にもつながります。

②放課後・休日の過ごし方、遊びの中での体力づくり、外遊びの充実。

毎日、家でもできる柔軟運動(ブリッジやストレッチ)の奨励。アウトメディア週間の際に親子で運動に取り組む他、休みの日の過ごし方の工夫をする。

③食事・睡眠のあり方。早寝・早起き・朝ご飯の徹底。朝ご飯をきちんと食べ、登校させる。夜は寝たことをきちんと確認し、10時までには眠りにしているようにする。